

第1回中央委員会



前橋市大手町 3-1-10
群馬高教組
027-231-2784
ghtu@educas.jp
http://www.ghu.org/



9月9日(土) 教育会館中会議室にて今年度第一回中央委員会が開催されました。Jアラートが鳴り、政府が不安感を煽る中、教育現場でも相変わらずの職員の多忙化や人事評価の賃金リンク、退職金の更なる引き下げの動きや生徒の貧困・格差の問題など多くの課題が山積しています。10月4日の県教委要請行動から、いよいよ秋の確定闘争が始まります。みんなで元気に闘いましょう。

「主な発言内容」

飯塚さん(桐工)
支部は再任用者が多いので、退職後の話題が多い。これから組織拡大・署名に力を入れていきたい。

高橋さん(桐高)
事務職員が多忙である。年金の申請用紙が手元で止まっていた。LHRは学級裁量が多とない。急な予定で見通しがたてにくい。

松本さん(桐女)
文化祭は伝統があり、生徒中心でよいが、もう少し教師がサジェスチョンを与えてもいいのでは。桐高との統合に関して、桐女は45分授業なので、単位数をどう合わせるかが課題となっている。「統合がなければこんなことで悩むこともないの」とも思う。

高橋さん(桐西)
退職した四宮さんが授業を見に来てくれるので救われている。桐南との統合に関して、教育課程のすり合わせをしたが、県からダメ出し。ビジョンが感じられない。来年度の選択科目もよく決まってい。

田村さん(高高)
新校舎を建設中だが、間に合うか心配だ。事務職員も多忙。定時制の帰りと同じくらいまで仕事をしている。

佐藤さん(大フレ)
空き時間が合わないため、学年で集まれる時間もとれない。必要なことはちゃんとやるのと、今年から職員会議を定期的に行うようにしている。

中村さん(大泉)
調査書のチェックが担任主任 進路指導主事 教頭と回り、付箋が多く貼られる。

内山さん(館林)
教頭は朝学習時にあらず、定時で帰ることも多い。キャリア学習で生産性の向上といわれるが、机・椅子がガタガタで、交換されていない。段差も多くバリアフリー化が遅れている。夏場でも水道水の塩素濃度が高くて飲めない。

林さん(渋女)
事務職員が遅い時間や土日でも働いている姿が見られる。夏休みに組合員4人で長野へ研修旅行に行った。

新井(利根実)
地公臨の先生は部活で忙しい。また、アクティブラーニングにまじめに取り組んでいる。私(新井)はALなどしたことがない。澁谷先生より、生徒を真ん中におく新井先生の授業こそALとの応答あり。

見城さん(沼高定)
非行問題はないが家庭の問題で不登校が多い。家に



議長の佐藤さん・山口さん

「チーム」は上意下達の視点。部活数が多く(運動部16、文化部も10以上)、サービス残業を改善していかなければ。

萩原さん(富東)
10月7日の甘楽支部企画・主催の福島県富岡町視察をよろしく。富東・富高統合に向けて校歌が披露された。

赤石さん(藤中定)
生徒指導上の問題がほとんどなく、生徒に恵まれている。定通手当を守ってほしい。

飯塚さん(前工)
前橋清陵の田口さんは分会新聞を発行。市立前橋の萩原さんは修学旅行の勤務振り替えが形骸化していることを指摘し自ら案を提示。組合の存在をアピールしている。生徒は以前と比べて大人しいが、やってはいけないことを並べるのではなく、何故かを考えさせることが大切。管理職の文章のチェックが多く、担任の想いや個性が消える。

吉澤さん(勢多農)
校長の「リーダーシップ」で多忙化に拍車がかかっている。SPHやお偉方の会議など、誰のためにやっているのか疑問に思う。昨年度まで通知表に一人一人担任がコメントを書くので大変だったが、簡略化された。

坂本さん(高経附)
9月1日に実教部総会を開いた。アンケートに協力してほしい。

中東さん(本部)
昨日は「9条改憲NO! 全国市民アクション」の集会に行ってきた。全国統一署名にみんなできりこもう。

田中さん(本部)
「赤城塾」で組合員が7名拡大した。9・30「すずめありき」で軽井沢へ行く。

いらないことを並べるのではなく、何故かを考えさせることが大切。管理職の文章のチェックが多く、担任の想いや個性が消える。

対県教委夏季要請行動

夏休み中の7月27日(木)、県庁にて、夏季要請行動が行われました。最初に23分会からの教育条件整備要求書を渡すとともに、施設・設備・教育条件に関する要請を総務課・管理課に対して行いました。その後、総務課、学校人事課、高校教育課、福利課に分かれて学校現場の実情と要求を伝えました。

「各課への要請の様子」

総務課 以下の項目について話し合われる。

- ・副校長のありかた
- ・学級のサイズ
- ・部活多忙化(総務課は検討委員会に入っているか質問、学人課も意見交換したいと言っていた)
- ・人事異動(事務引継ぎもあるだろうし、後任は分からないのか)
- ・ポーンズについて
- ・再任用:行政職はフルタイムはない
- ・免許更新制・入試
- ・総体開会式

学校人事課(こちらからの要請・要望が主)

- ・多忙化について:職員の仕事の実態把握はしているのか。多忙化解消で校長は評価されているのか。
- ・部活動:休日も当たり前
- ・実習教員の任用替え 合格率 農1/4 工1/2

福利課

- ・人事異動後、精神疾患がみられるケースについては人事課で調査により把握している
- ・福利課としては退職した後の生活の変化を説明会で伝えていく。大きな環境の変化に対応してもらえないように。定年者限定で、ライフプランセミナー等できる限りの情報提供をしている。
- ・今後も事業を充実させていきたい。ストレスチェックも経年比較ができるようにしたい(見直し)。やっぱりだけでは意味がないので充実させていきたい。各校の安全衛生委員会でもメンタル部分が議題になってきている。体制整備をはかしていきたい。

高校教育課

- ・高校統廃合・特別支援通級指導・高校総体開会式・入試・エアコンなどの課題を中心に要請を行う。

関づろ夏の学習交流集会

関東甲越ブロックの「夏の学習交流会」が8月27日(土)〜28日(日)に、今年度は群馬を会場に開催されました。例年よりも多い70名の教職員が安中・磯部温泉の高山旅館に集いました。温泉や宴会での交流も楽しみながら現在の情勢や教育課題について学びました。

「参加者の報告・感想」
温泉マーク発祥の地である磯部温泉の歴史を感じさせる、格式のある旅館での学習会でした。

全体会の山田先生(群馬大名誉教授・経済学)の講演は、前半は今の日本がいかに既得権者(大企業や富裕層)にとって都合が良く、



夕食交流時、女性分科会の皆さんによる、歌の発表。みんなで元気に。

私たちが庶民にはやさしさが足りない社会になっているかが示され、気の重くなるようなものでしたが、後半は、私たちの「選択」の仕方如何により、今とは全く異なる「平和福祉国家」になれる可能性が語られ、明るい希望を抱くことができました。

第1分科会(憲法と教育)では、小、中、高における主権者教育(自治的活動や労働に対する意識)の現状が語られました。小学校では児童会の選挙がなく、児童会そのものもなく、つつある様子、中学校では政治教育や政治的な話題に対する教員の自己規制の様子、高校では生徒の自主的な活動のやりにくさや主権者教育とは言え、本当に生徒たちにとって必要な情報が与えられられていない様子が報告されました。これらを通して、教育者自身の主権者としての意識の低さが明らかになったように私

「人事評価の処遇反映に関する交渉覚書」の取り扱いについての文書と「2017群馬高教組要求書」を県立・市立学校長あてに送りました。分会でもよく目を通していただき、是非、校長との交渉や対話に活用してください。

には感じられました。近頃の先生方から情報を得られただけでなく、小中学校の先生方とも交流できたことはとてもいい経験になりました。自分個人だけでなく、自身の属する社会をより良くするために考え、発言し、行動できる市民(主権者)を育てることの大切さをあらためて考えさせられた、楽しくも有意義な2日間でした。(高岡定・澁谷先生)